

暑さに強い群馬オリジナル蚕品種「なつこ」が初めて県外へ配蚕されます

猛暑の夏でも丈夫に育つ蚕として、蚕糸技術センターで育成した蚕品種「なつこ」が、群馬県外(茨城県、栃木県)に初めて*配蚕されます。

近年の猛暑の影響で初秋蚕期(7~8月)の作柄が不安定なことから、県外から「なつこ」の飼育希望があがっていたもので、県では関係企業・機関との調整を図り、この度、初めて県外農家で「なつこ」が飼育されることになりました。

※配蚕:共同飼育所で、ふ化後に一定期間飼育された蚕を個々の農家へ配ること。

- 1 日 時 令和5年7月28日(金) 9時00分~9時30分
- 2 場 所 JA甘楽富岡 小野稚蚕人工飼料育センター(富岡市相野田386)
- 3 蚕 品 種 群馬オリジナル蚕品種「なつこ」
- 4 配蚕予定箱数 37箱(1箱あたり蚕 30,000 頭)
内訳:茨城県:1箱、栃木県:11.5箱、県内:24.5箱
- 5 その他
県外で飼育された「なつこ」の繭は、群馬県内の碓氷製糸株式会社へ出荷されます。



共同飼育所での飼育の様子

群馬オリジナル蚕品種「なつこ」について

蚕糸技術センターで育成した蚕品種で、令和2年1月に「なつこ」と命名、同年7月に実用飼育が始まりました。

猛暑の夏でも丈夫に育つのが特徴で、県内では初秋蚕期に飼育されており、繭の収量確保や品質安定につながっています。